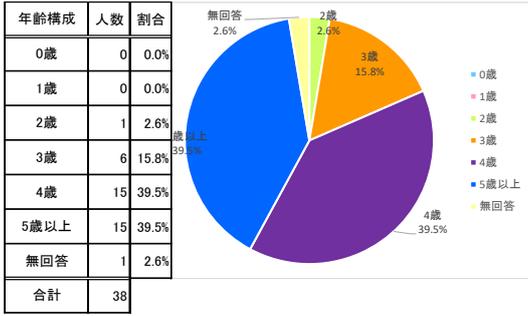


保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成31年3月1日

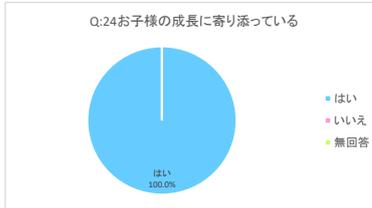
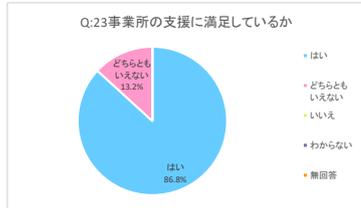
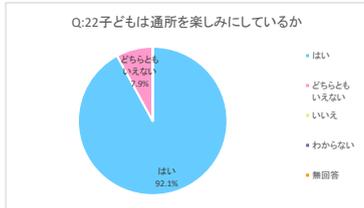
事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール近鉄学園前

保護者等数(児童数) 42 回収数 38 割合 90.5%



	チェック項目	割合					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	無回答			
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	68.4%	28.9%	0.0%	2.6%	0.0%	・時々、子供同士がぶつかりそうでヒヤッとする場面がある。 ・3組同時の感覚調整遊具は少し狭いと思う。 ・できればもう少し広さがあればと思う。 ・もう少し広くていいと思うが、すごく狭いとも思わない。	基準に則った限りあるスペースであるため、引き続き安全を確保しながら保育室を十分に活用して参ります。 また特に、感覚調整遊具利用時には、最大限の注意を払い、危険を伴うと思われる際には、事務室にいる職員を呼び、確実に安全を確保しております。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	84.2%	13.2%	0.0%	2.6%	0.0%	・規定が分からない。		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	81.6%	15.8%	0.0%	2.6%	0.0%	・個別のとき、他の子の活動が気になる。	引き続き安全を確保しながら、空間の使い方を十分に話し合い、支援に取り組んで参ります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、「児童発達支援計画」が作成されているか	86.8%	7.9%	0.0%	2.6%	2.6%	・わかりやすい計画となっている。他に「このような計画があるが」と提案、選択出来るようわかりやすい。 ・保護者のニーズ自体が父の特性によりよく説明できていない。現状を見てよくやってくれていると感じている。 ・とても考えてくれている。	計画については職員間でしっかりと話し合い、確認しておりますが、よりわかりやすい説明を心掛けて参ります。	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	78.9%	7.9%	0.0%	7.9%	5.3%	・今の子供の状態を共通把握し、先に待ち受けている小学校の現状もふまえ、現在の計画でいくという具体案の提案、選択が出来るとわかりやすい。	計画については職員間でしっかりと話し合い、確認しておりますが、より詳しい説明を心掛け、寄り添った支援に尽力して参ります。 保護者様よりご希望のあった内容については、お子さまの様子も踏まえて検討して参ります。	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	86.8%	7.9%	0.0%	0.0%	5.3%	・個別支援計画で力を入れて取り組んでほしいと伝えた活動がたまにしか入っていないように思う。もう少し入れて欲しい。	保護者様よりご希望のあった内容については、お子さまの様子も踏まえて検討して参ります。	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	・いつも楽しくて頂いている。 ・先生方が申し送りをして下さるようで、色々工夫して下さっているのを感じる。		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	31.6%	18.4%	10.5%	34.2%	5.3%	・保育園に通っているので必要ない。 ・保育園では徐々に理解されている。 ・日常生活で、幼稚園に通っている。		
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	86.8%	7.9%	0.0%	2.6%	2.6%			
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	52.6%	34.2%	0.0%	10.5%	2.6%	・困っていることや問題行動について、いつも相談させていただいたり、アドバイスも受けている。 ・自身の子供に合った対応の仕方を教えて頂き、感謝している。 ・先生によって理解度が違う気がする。	職員の理解度につきましては、情報共有、話し合いの時間を大切にし、日々、職員個人でも研鑽に努めて参ります。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	92.1%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	・自身の子供に合った対応の仕方を教えて頂き感謝している。 ・よく子どもの事で話を聞いてくださっている。		
14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	81.6%	10.5%	2.6%	2.6%	2.6%	・自身の子供に合った対応の仕方を教えて頂き感謝している。			
保護者への説明等	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5.3%	21.1%	23.7%	39.5%	10.5%	・定期的にこういう会を開催してほしい。 ・保護者会などが開催されているのか分からない。	セッション時、保護者様同士で意見交換をされたり、連絡先交換を経て連絡を取り合っておられる方もいらっしゃいます。また、各御家庭の状況も鑑み、当スクールでは保護者会等の開催については現在、予定しておりません。引き続き受付待合室など保護者様のスペースをご活用いただけたらと考えております。	
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	78.9%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%			
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	42.1%	21.1%	5.3%	31.6%	0.0%			
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	86.8%	2.6%	0.0%	10.5%	0.0%			
	非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	23.7%	13.2%	13.2%	47.4%	2.6%		
		21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18.4%	18.4%	10.5%	50.0%	2.6%		

	チェック項目	割合					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答		
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	92.1%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	・いつも通所日の朝は喜んでる。 ・なかよしグループは楽しみにしている。	
	23 事業所の支援に満足しているか	86.8%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%		
その他	チェック項目	割合			ご意見	ご意見を踏まえた対応		
	はい	いいえ	無回答					
	24 お子様の成長に寄り添っていると感じられますか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	25 スクールでのお子様の様子やスクールからのお知らせはわかり易く説明されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%				
	26 職員の身だしなみに清潔感があり、笑顔で接していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	・職員によって差がある	再度意識を徹底し、清潔感のある身だしなみと笑顔を心掛けて参ります。		
	27 家庭とスクールの信頼関係はありますか。	100.0%	0.0%	0.0%				
28 けがのとき、明確な説明が受けられていますか。	86.8%	5.3%	7.9%	・けがをしたことがない。 ・丁寧な対応を下さっている。	怪我をすることがないよう、安心・安全な場所であることが大前提と考えています。引き続き、安心・安全に努めて参ります。			



*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。
 *2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。
 *3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。
 *4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。